



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日 東

上場会社名 株式会社ヴィンクス 上場取引所
 コード番号 3784 URL <https://www.vinx.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 今城 浩一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 竹内 雅則 (TEL) 03-5637-7607
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	20,459	△9.5	1,688	9.9	1,679	11.8	1,047	4.5
2019年12月期第3四半期	22,607	—	1,537	—	1,502	—	1,001	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 1,057百万円(9.4%) 2019年12月期第3四半期 966百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	62.28	—
2019年12月期第3四半期	57.84	—

当社は、2018年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、2018年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	18,625	9,137	45.6
2019年12月期	16,913	8,114	45.6

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 8,501百万円 2019年12月期 7,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	5.00	—	8.00	13.00
2020年12月期	—	6.50	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	6.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,700	3.2	1,720	3.0	1,696	2.6	1,113	1.3	66.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	17,718,000株	2019年12月期	17,718,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	900,572株	2019年12月期	900,572株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	16,817,428株	2019年12月期3Q	17,321,844株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大による内外経済の停滞等、先行きが不透明な状況となっております。

情報サービス産業として、とりわけ当社の主要分野である流通・サービス業分野におきましては、人手不足の課題とともにキャッシュレス化のニーズが顕著となっており、効率化や顧客満足度向上のための投資の需要が高まっております。また、世界的な大手E C企業がリアル店舗への進出を強化するだけでなく、国内外のI Tベンチャー企業も相次いでリアル店舗向けの技術を開発するなど、流通・サービス業におけるI Tの重要性を象徴するような取り組みも見られております。一方、新型コロナウイルス感染症の拡大により、消費者の購買行動の厳選や、リアル店舗における営業時間の見直し等、多岐にわたる影響が長期化する懸念もあり、厳しい経営環境が続くと見られております。

このような環境の中、当社グループは、「アジアにおける流通I Tのリーディングカンパニーを目指す」を経営ビジョンとして、「ニューリテール戦略の実行」、「特定顧客(注1)事業の深耕」、「プロダクト事業の強化」、「リテールソリューション事業の拡大」、「グローバル市場の拡大」、「経営基盤の強化」を着実に実践し、更なる事業成長と安定的収益の確立に注力し、企業価値の一層の向上に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間において実施した主な施策といたしましては、次のとおりとなります。

① ニューリテール戦略の実行

イ. タイの日系大手化粧品ブランドの80店舗に対して、スマートシェルフの導入が決定いたしました。

ロ. 関東地方を中心として展開する大手スーパーより、次世代キャッシュレス・セルフPOSシステムの導入案件を受注いたしました。

② 特定顧客事業の深耕

イ. 大手総合小売業グループより、グループ再編等に関連する基幹システム対応案件を受注いたしました。

ロ. 全国にショッピングモールを展開するディベロッパー法人より、海外のキャッシュレス決済システム対応案件を受注いたしました。

ハ. 大手総合小売業グループより、ファシリティ関連の基幹システム構築案件を受注いたしました。

ニ. 関東地方を中心として展開する大手スーパーより、プロセスセンターのリプレイス案件を受注いたしました。

③ プロダクト事業の強化

イ. 関西の生協グループや、東京都・神奈川県を中心として展開する食品スーパー、兵庫県を中心として展開する食品スーパー、及び共同仕入れ機構の関連会社である関東地方の食品スーパーより、「MDw a r e自動発注」の導入案件を受注いたしました。

ロ. 関東地方を中心として展開する食品スーパーより、顧客ポイント統合ソリューション「Hy b r i d-S a t i s f a」の新販促機能開発案件を受注いたしました。

④ リテールソリューション事業の拡大

イ. 北海道から全国に展開する大手ドラッグストアグループより、次期POSシステムの開発案件を受注いたしました。

ロ. 北関東から全国に展開する大手ホームセンター向け新基幹システム構築案件を受注いたしました。

ハ. 小売業・卸売業等11社より、R P A (注2)の導入案件を受注いたしました。また、『BizRobo! Family Awards 2020』において、「デジタル・トランスフォーメーション賞」を受賞しました。

ニ. 東日本を中心に展開する大手ホームセンターより、次期POSシステムの開発案件を受注いたしました。

ホ. 大手総合スポーツ用品メーカーより、会員統合基盤の構築案件を受注いたしました。

ヘ. 空港運営会社向け次期POSシステムの開発案件を受注いたしました。

ト. 西東京を中心に展開する食品スーパーより、基幹システム構築案件を受注いたしました。

⑤ グローバル市場の拡大

イ. 全国に展開する大手ドラッグストアのアセアン展開案件を受注いたしました。

ロ. タイ大手財閥グループのカフェバーカー向けPOSシステムの導入が決定いたしました。

⑥ 経営基盤の強化

イ. クラウド型サービスの提供拡大や利用料型サービスなどストック型ビジネス（サービス事業）の拡大を推進しました。

ロ. 当社グループにおけるシステム開発の生産性向上を図るべく、中国及びベトナムでのオフショア開発や経営管理体制とプロジェクト管理体制を確立するために必要な各種施策を実施してまいりました。

また、プロジェクトマネージャーの育成にも注力し、各プロジェクトにおける運用・品質管理を強化するためにPMO（注3）を中心として、品質を保持しながら計画的且つ効率的にプロジェクトを遂行することに取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間に関する業績は次のとおりとなりました。

売上高につきましては、小売業におけるキャッシュレス化、マルチベンダー化（ハードウェアとソフトウェアの分離）のニーズの高まり等により、ソフトウェアプロダクトの売上が増加しました。一方、新型コロナウイルスの影響により、ハードウェア販売を中心とした受注遅れが発生し、その結果、売上高は204億59百万円（前年同期比9.5%減）となりました。

利益面につきましては、主に開發生産性の向上により各段階利益が前年同期を上回り、営業利益16億88百万円（前年同期比9.9%増）、経常利益16億79百万円（前年同期比11.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益10億47百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

(注1) 特定顧客

各業種業態の有力企業であり、当社が主要ITパートナーとしてプロダクトの提供やソリューション開発に加え、保守・運用業務まで含めて総合的にサービスを提供している顧客のことをいいます。

(注2) RPA (Robotic Process Automation)

これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化することをいいます。

(注3) PMO (Project Management Office)

組織におけるプロジェクトマネジメントを統括・管理することを専門として設置された部門のことをいいます。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は186億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億11百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が前連結会計年度末比29億71百万円の増加、受取手形及び売掛金が前連結会計年度末比5億78百万円の減少となったことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債総額は94億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億88百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金の前連結会計年度末比12億73百万円の増加、未払法人税等が前連結会計年度末比4億70百万円の減少となったことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は91億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億23百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が前連結会計年度末比8億3百万円の増加、新株予約権が前連結会計年度末比1億80百万円の増加となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上高はハードウェア販売等の一部案件で計画の進捗に遅れが見られるものの、利益面は概ね計画通り推移しております。通期連結業績につきましては、引き続き当該感染症の影響による経済情勢の先行き不透明感もありますが、現時点では当初計画と大幅な差異は発生しない見込みであり、2020年2月12日付で公表いたしました2020年12月期通期業績予想値に変更はございません。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,252,813	7,223,858
受取手形及び売掛金	5,445,268	4,867,175
電子記録債権	44,155	34,945
商品	94,410	57,950
仕掛品	504,626	375,567
貯蔵品	3,373	3,568
その他	566,233	674,414
貸倒引当金	△78,457	△75,321
流動資産合計	10,832,423	13,162,158
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	1,017,036	793,230
その他（純額）	680,413	618,985
有形固定資産合計	1,697,450	1,412,216
無形固定資産		
ソフトウェア	1,880,864	1,741,749
のれん	275,391	459,560
その他	15,418	15,418
無形固定資産合計	2,171,674	2,216,728
投資その他の資産		
その他	2,212,036	1,834,256
貸倒引当金	△41	△34
投資その他の資産合計	2,211,995	1,834,222
固定資産合計	6,081,119	5,463,166
資産合計	16,913,543	18,625,325

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,860,875	1,685,711
電子記録債務	48,436	44,749
未払金	946,127	840,486
短期借入金	573,360	1,847,000
1年内返済予定の長期借入金	465,840	706,296
リース債務	47,388	31,242
未払法人税等	481,883	11,631
賞与引当金	976,336	582,826
役員賞与引当金	90,401	68,568
工事損失引当金	68,552	—
その他	401,531	524,816
流動負債合計	5,960,733	6,343,329
固定負債		
役員退職慰労引当金	114,317	158,062
長期借入金	993,240	1,391,414
退職給付に係る負債	1,428,014	1,319,668
リース債務	28,666	9,309
資産除去債務	222,696	222,696
その他	51,373	43,004
固定負債合計	2,838,308	3,144,155
負債合計	8,799,042	9,487,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	596,035	596,035
資本剰余金	1,612,796	1,612,796
利益剰余金	6,775,970	7,579,537
自己株式	△1,267,560	△1,267,560
株主資本合計	7,717,242	8,520,809
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,909	28,808
為替換算調整勘定	2,517	△36,770
退職給付に係る調整累計額	△11,772	△10,911
その他の包括利益累計額合計	655	△18,872
新株予約権	168,115	348,719
非支配株主持分	228,488	287,184
純資産合計	8,114,501	9,137,840
負債純資産合計	16,913,543	18,625,325

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	22,607,706	20,459,617
売上原価	17,575,619	15,371,670
売上総利益	5,032,087	5,087,946
販売費及び一般管理費	3,494,939	3,399,371
営業利益	1,537,147	1,688,574
営業外収益		
受取利息	12,954	6,979
受取配当金	1,515	1,611
システムサービス解約収入	—	16,302
助成金収入	10,000	6,077
補助金収入	1,849	16,638
為替差益	5,019	—
その他	8,161	12,684
営業外収益合計	39,499	60,294
営業外費用		
支払利息	19,532	16,616
システムサービス解約損失	—	12,814
システム障害対応費用	25,651	25,859
固定資産除却損	14,746	2,457
為替差損	—	3,781
その他	13,775	7,670
営業外費用合計	73,705	69,200
経常利益	1,502,941	1,679,669
特別利益		
新株予約権戻入益	86,919	—
資産除去債務戻入益	59,315	—
特別利益合計	146,234	—
特別損失		
減損損失	54,325	—
投資有価証券評価損	53,267	—
事務所移転費用	22,874	—
特別損失合計	130,467	—
税金等調整前四半期純利益	1,518,708	1,679,669
法人税、住民税及び事業税	362,506	212,018
法人税等調整額	129,466	390,959
法人税等合計	491,973	602,978
四半期純利益	1,026,735	1,076,690
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,887	29,270
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,001,848	1,047,419

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,026,735	1,076,690
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△937	19,035
為替換算調整勘定	△59,471	△39,556
退職給付に係る調整額	97	860
その他の包括利益合計	△60,311	△19,661
四半期包括利益	966,424	1,057,028
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	942,921	1,027,891
非支配株主に係る四半期包括利益	23,502	29,137

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

2020年1月31日付で株式会社Ui2の株式を取得し子会社化したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、同社を新たに連結の範囲に含めております。